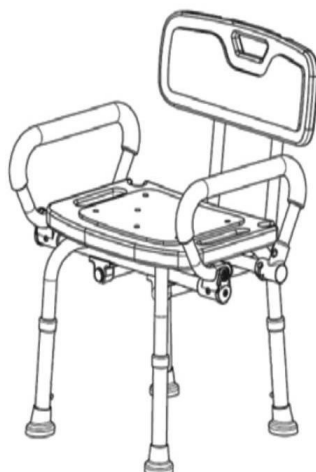


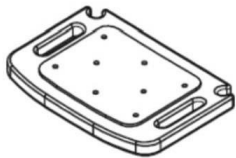
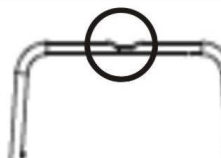
肘掛跳ね上げ式シャワーベンチ

この度は当製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。安全にご使用頂くため、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みいただいた後はお手元に保管してください。



《付属品の確認》

当製品には下記A～Lの部品が同梱されています。不足がないこと、破損など異常がないことをご確認ください。
 ※不足部品や不具合などがございましたら、お買い求めの販売店までご連絡ください。

項目	部品名	数量	項目	部品名	数量	項目	部品名	数量	項目	部品名	数量
A	座面	1	B	足パイプ上	1	C	足パイプ下	1	D	背もたれ固定パイプ	2
											
項目	部品名	数量	項目	部品名	数量	項目	部品名	数量	項目	部品名	数量
E	肘掛け固定パイプ後	1	F	肘掛け固定パイプ前	1	G	背もたれ	1	H	肘掛けパイプ左	1
											
項目	部品名	数量	項目	部品名	数量	項目	部品名	数量	項目	部品名	数量
I	肘掛けパイプ右	1	J	平ネジ	4	K	丸ネジと波型ワシャー	5	L	伸縮パイプ	4
											

《製品の仕様》

カタログコード： 24-7886-00
 品名： 肘掛跳ね上げ式シャワーベンチ
 品番： MY-1250
 材質： フレーム：アルミ、座面・背もたれ：ポリエチレン、マット：EVA、ネジ：ステンレス
 寸法： W405×D405×H650～750mm
 重量： 約3.1kg

組立方法

※プラスドライバーをご用意ください。

ステップ1		ステップ2
<p>①座面(A)を裏返して、足パイプ上(B)を溝に合わせます。</p> <p>②足パイプ下(C)の窪みと足パイプ上(B)の窪みをあわせ、丸ネジに波型ワッシャー(K)を入れ締めてください。</p> <p>③肘掛け固定パイプ後(E)と肘掛け固定パイプ前(F)を足パイプ下(C)の上に乗せます。</p> <p>④平ネジ(J)4本で固定してください。</p>		<p>① 足パイプ上(B)とのプッシュボタンを押さえ、伸縮パイプ(L)に差し込んでください。</p> <p>② 足パイプ下(C)とのプッシュボタンを押さえ、伸縮パイプ(L)に差し込んでください。</p> <p>③ プッシュボタンが伸縮パイプの穴に固定されている事を確認してください。4本とも同じ高さに調節してください。</p>
ステップ3		ステップ4
<p>①2本の背もたれ固定パイプ(D)を肘掛け固定パイプ後(E)と前(F)の穴を通し、一カ所のプッシュボタンで固定してください。</p> <p>②背もたれ(G)を、背もたれ固定パイプ(D)の4ヶ所のネジ穴に丸ネジに波型ワッシャー(K)を入れ締めてください。</p> <p>③肘掛けパイプ左(H)と右(I)を肘掛け固定パイプ前(F)と後(E)を合わせて、プッシュボタンを押さえ、固定してください。(前後方向の取付け向き及びパイプ右と左の取付方向に注意ください。)</p>		<p>① プッシュボタンカバーを押さえると肘掛けパイプを跳ね上がります。</p> <p>② 肘掛けを下す時、肘掛けパイプのプッシュボタンがしっかり肘掛け固定パイプ前(F)の穴に確実に固定されていることを確認してください。ケガをする恐れがあります。</p>



安全上のご注意

- ご使用前に各部の点検をし、破損や変形、グラつきなど異常がある場合にはご使用しないでください。
- 平らな場所でご使用ください。凸凹のある不安定な場所に置くと、転倒してけがをする可能性があります。
- 設置に際して、直射日光が当たる場所、火気、ストーブなどの近く、湿気の多いところは避けてください。変色や変形、劣化の原因となります。
- 本製品の上に立つ、製品に寄りかかることは製品が転倒する恐れがありますので、おやめください。
- 耐荷重を確認の上、ご使用ください。耐荷重を超えて使用した場合は破損や変形、事故に繋がりますのでおやめください。
- ネジがゆるんだまま使用しないでください。本体がこわれてケガする恐れがあります。
- 各プッシュボタンは必ず固定していることを確認してください。ケガをする恐れがあります。
- 本製品は本来の目的以外の使い方はしないでください。ケガをする恐れがあります。
- 本製品を改造しないでください。

お手入れ

- ◎お手入れの際は、から拭きするか固く絞った布などで拭いてください。
- ◎汚れがひどい場合には、水で薄めた中性洗剤を使用し、傷が付かないよう、柔らかい布で拭き取ってください。
- ◎本製品に直接熱湯をかけて洗わないでください。変形する恐れがあります。
- ◎タワシ・研磨剤入りスポンジ・両面スポンジの固い面などはご使用にならないでください。
- ◎塩素系洗剤・有機溶剤・クレゾールなどはご使用にならないでください。製品が劣化し、破損する恐れがあります。
- ◎温泉や入浴剤入りのお湯はかけないでください。劣化の原因となります。